

部員がとりまとめ、理事会での説明用資料を作成する。

- 3/16: 理事会にて、天野部長が総務部長と調査・研究部長へ回答を促す。また、その他の部長へは、アンケートの回答へのコメントを配布・報告する。質問がある場合、事務局の長尾さんへ伝えてもらう(長尾さんから担当の部員へ転送する)。
- 4/6 まで: 総務部と調査・研究部も含めて、アンケートの回答を各部から事務局の長尾さんまで送付してもらう。その後、鈴木部員がとりまとめ、峯田理事が要旨を書いた頭紙(A4×1枚程度)を作成する。
- 5/8: 企画部会において、アンケート回答結果と頭紙の最終確認を行う。
- 5/14: 理事会にて、アンケートの回答結果と頭紙を配布・報告する。

5. 地盤品質判定士について(峯田理事、濱田部員、鈴木部員) 【別紙 5】pp.33-43

- ・「地盤品質判定士」資格制度設立に向けた取り組み状況について、濱田部員が報告した。
- ・3/12に、第3回目の調整会議が行われることと、その会議資料が紹介された。
- ・事務局は全地連とし、試験問題の作成や講習に地盤工学会が携わっていくイメージであることが報告された。
- ・建築系では、スウェーデン式サウンディングで液状化判定を行っており、土木系の判定方法との整合性を図ることの難しさが紹介された。

6. 評価委員会に関して(企画部としての取扱い)(峯田理事) 【別紙 6】p.45

- ・評価委員会の設置について、峯田理事が報告した。
- ・「評価委員会の設置に関して」の資料について、結論(委員会は設置せず、レビューシートを活用していく)を頭に持ってくるなど、目立つようにする。また、中長期ビジョンと委員会を関連付けた企画部の成果についても記述する。
- ・地盤工学会の全ての委員会はレビューシートに網羅されているとのコメントがあった。
- ・山田部員がレビューシートを見直し、企画部での内容の確認はメール審議とする。その後、3/16の理事会で作成依頼を行う。

7. 企画部会の次年度の検討課題と企画部の体制について 【別紙 7】pp.47-53

- ・検討時間が無くなったため、次回に議論を持ち越すこととした。
- ・次年度の部員構成については以下の通り報告があった。
 - 谷オブザーバー、峯田理事は任期満了で退任する。後任の理事が企画部に加わる。
 - 杉本部員は次年度は4年目になるが、継続をしていただく。
 - 浅田部員は交代する。後任候補も決まっている。
 - 大学からの部員がいなくなるため、大学からの部員を追加することを検討する。

8. 次回の開催日確認: 5月8日(火) 15:00~17:00

9. 次回理事会への提案事項

- ・審議事項: 無し
- ・報告事項: 中長期ビジョンのアンケート提出と確認のお願い、レビューシート提出のお願い